

株式会社 大宮産業



年1度の株主総会。殆どの株主（住民）が出席し営業報告や事業計画案など熱心に議論

評価のポイント

株式会社大宮産業が活動している旧西土佐村は、平成17年4月に中村市と合併し、四万十市となった一部過疎地域である。当該地区では、平成17年に、地元で唯一日用品やガソリン等を販売していたJA高知はた大宮出張所が廃止となることを受け、翌18年に、その購買事業等を引き継ぐために地元住民からの出資を募り、地元住民108人が株主となって「株式会社大宮産業」が設立された。当該会社は、単にJAから引き継いだ物販を行っているだけでなく、地域への宅配や感謝祭の実施など、地

域の実情に合わせた経営を行っている。また、店舗の経営以外にも、地域で採れる米を「大宮米」としてブランド化する取り組み、「地産外商」と積極的に販路を地区外へ広げるなど積極的な活動が見られる。合理化・統合・市場原理で止むなく「忍耐」を強いられる状況下が各地域で進行している中、本事例は、住民が全員、力を合わせて「暮らしを続ける」ための知恵を集結させた事例である。「小さな工夫と少しずつの無理」を重ねながらもやがて法人格を構えるに至るプロセスは具体的で、同様な課題を抱える地域にとって、活性化への「勇気づけ」となる。本事例においては、このような点が評価された。

みんなでつくれた 株式会社大宮産業

自ら地域の暮らしを守り、将来へ繋げるために！



販売方法、品揃え、イベントなど会社の取り組みについて、住民代表から意見を聴く「アドバイザー会議」



農繁期や買い物に行けない高齢者にとって便利な毎週木曜日の「宅配サービス」。電話1本、予約注文で自宅まで配達します。



店舗外にも売り場を設け、地元の野菜や米など多くの品揃えと特売サービスで利用者への感謝と地域の賑わいづくりに「感謝祭」を開催



地元団体や住民の協力もあり、地域食材を使った手づくり屋台も並ぶ「土曜夜市」。地区内外の子供からお年寄りまでが楽しめる夏の交流イベント

事例の概要

◎四万十市は、高知県南西部に位置し、旧中村市と旧西土佐村が平成17年4月に合併し誕生した一部過疎地域である。株式会社大宮産業は、旧西土佐村の大宮地域で唯一日用品やガソリン等を販売していたJA高知はた大宮出張所の廃止に伴い、その購買事業等を引き継ぐために平成18年5月に、地域住民108人が出資して設立された。地域住民が自ら出資することにより、各々が当事者意識を持つことで地域が抱える諸問題を皆で考え、対策に取り組むことで大宮地域の活性化を図っている。

◎活動内容は、JAから引き継いだ日用品やガソリン等の購買事業はもとより、人々が集まりやすいように店舗に談話室を設置したり、地域への宅配や感謝祭を実施したりするなど、地域のコミュニティを大切にしている。また、大宮地域で採れる米を減農薬栽培による「大宮米」としてブランド化する取り組みを行っており、「大宮米」を四万十市の学校給食へ提供したり、「地産外商」と積極的に販路を地区外へ広げたりすることで、地域の暮らしを守っている。

高知県 四万十市(しまんとし)



国勢調査人口

	昭和35年	昭和45年	平成7年	平成12年	平成17年
四万十市	47,420	39,379	38,991	38,784	37,917
四万十市(旧西土佐村)	8,469	5,806	4,061	3,816	3,571

人口増減率

	H17/S35	H17/S45	H12/H7	H17/H12
四万十市	-20.0	-3.7	-0.5	-2.2
四万十市(旧西土佐村)	-57.8	-38.5	-6.0	-6.4

高齢者・若年者比率(H17年)

	高齢者比率	若年者比率
四万十市	27.0	13.5
四万十市(旧西土佐村)	37.2	9.4

交通のご案内

自動車・高知自動車道須崎東ICから国道56号381号経由で約2時間
鉄道・JR予土線江川崎駅から車で20分
飛行機・高知空港から車で約3時間

団体連絡先

株式会社 大宮産業
〒787-1615 高知県四万十市西土佐大宮1578 TEL/0880-53-2100 FAX/0880-53-2102